

【南九州税理士会会長賞】

国民と未来をつなぐ架け橋

上天草市立大矢野中学校

一年 木下 友花

私は、税金は効率よく、安全と未来を守るとても素晴らしい制度だと思います。

なぜ、そう思ったかという、私たちは自分たちが支払った税の金額以上の恩恵を受けているからです。

例えば、学校生活では、私たちが勉強する校舎、机や椅子、黒板、教科書などのほとんどのが税金で賄われています。私は先日、あるテレビ番組で、「学校にある道具の値段を当てる」という企画を見ました。その番組によると、私たちが普段使っている机や椅子はワンセットで、なんと約三万円もするそうです。また、私たちが毎日おいしく食べている給食。実は、この給食の給食を食べるために支払う給食費には、給食を作るためのガス代や水道代、人件費は含まれておらず、材料費のみの金額だといいます。そこで支払われなかった分のお金は税金によって賄われます。このように、私たちが通う学校は、多くの税金によって成り立っています。

他にも、駅などでは、ホームから線路への転落を防ぐホームドアは、ホームひとつにつき約十億円、点字ブロックは、一枚²⁵⁰⁰円ほどあります。道路の信号は車用で約²³⁰万、歩行者用で約100万円ほどといわれています。更に、このような信号やホームドアの稼動に使われる電気代も税による負担が行われています。私たちの安全は、税金によって守られているということです。

私たち日本国民は、一人当たり平均約65万円の税金を年間で支払っていますが、中学生の一人当たりの教育負担額は、年間で約¹¹²万²⁰⁰⁰円と、支払った額以上の負担を税によってしてもらっています。日本の未来を担う小中学生の教育を税金によって充実させることによって、未来の日本の役に立つことができているといえます。

このように、税金は、国民の安全のためや日本の未来をよりよくするために、国民一人一人から平等、かつ公平に徴収するという形によって成り立っている、とても効率のよい制度だと考えられます。それだけではなく、身近にいる顔を知った人たち以外の顔も知らない人たちともつながり支え合うことのできる、いわば「全ての日本国民とその未来をつなぐ架け橋」であるということができます。でも、国民の義務である納税をしない人たちがいると、この架け橋は崩れてしまいます。そうならないためにも、私は大人になったら、嫌がったりせずに納税をしたいと思うし、世の中の人にも、ちゃんと納税をしてほしいと思います。